

課外活動改革

プロジェクトの取り組み

聖学院高等学校

総務統括部長(教頭)

日野田 昌士

- 派遣の指導員がスポットではなく、**各部活のマネジメントの責任**を負う。

元Jリー
ガー卓球
教室の
主催者

...

...

シード
サクエデュケーショ
ナルネットワーク

リーフラス

業務
委託
契約

聖学院中高

高校
サッ
カー中高
卓球中学
野球中学
サッ
カー

適正な対価の
支払い。時給
4000円。年間
1部活あたり
200~300万
円の運営経費

**妥協なき採用
活動、研修。**
採用方針は
各々の部活に
よるが、**自主
性**を重んじた
部活動運営

（善意と強制で）
教員が負っている部活動
の顧問を含む放課後の
業務を、 **学校全体で、**
組織的にリデザインする。

法定労働時間は**週40時間** (変形労働で**47.5時間**)

- ★授業16時間 + LHR・総合学習2時間 = **18時間**
- ★部活動指導が1日2時間×週4日 = **8時間**
- ★部活の指導後、すぐに授業準備に取り掛かれるか？
- ★**1授業あたりの授業準備は何分を想定**しているのか？
- ★教員には**休憩時間**はないのか？
- ★朝練が入ろうものならば、**朝の出勤時間は**・・・

13:30～14:20 5限目…授業④

14:30～15:20 6限目…明日の授業の準備

15:20～15:50 終礼

16:00～18:00 部活の指導

18:00～19:00 会議

- 授業・体験学習・自主プロジェクト（部活動を含む）の3つを柱とする
- 法定労働時間（変形10時間）でおさまる仕事量へ



理想
状態

- 部活動指導員を積極的に任用し、**教員は「部長」職**へ
- 部活動の顧問を「やる」「やらない」を選択制へ
- 安全配慮義務のリスク分担化の仕組みができています
- **週2日以上**の休養日、**活動時間を2時間/日**とし、その実態を把握し、公開されている

教員の主たる業務である「授業」に注力できる体制をつくる

部活動で実現されるものも授業の工夫で実現できるはず



現状

- 教員に**高度な安全配慮義務**が課せられ監督責任の増大
- 部活動の活動日数・時間の上限が決まっているが、厳密な意味で遵守させづらい。**労働時間とともに、出張費が青天井**となっている。
- 朝礼8：15～、最終下校時刻18：30。部活動の顧問はその後に家庭連絡、各種ミーティング、授業の準備など、**10時間以上労働が前提**となっている。
- ICT・AL研究など、**教員の多忙化が加速**している。

従来

部活動を顧問の熱意
で回していた

これ
から

学校全体で組織的に
マネジメントできる
体制を

先生に感謝
しています

生徒が学び、
成長することが重要

生徒・保護者
だけでなく、
教員の当たり
前を変える

聖学院中学校高等学校

年間36万円
(月3万円
×12か月)
の補助

中学サッカー部

マッチング
サイト経由

ボラン
ティア

生徒の
保護者

取引業者の
営業マン

卒業生の
大学生

整骨院
の先生

指導
員 A
(有償)

指導
員 B
(無償)

指導
員 C
(無償)

指導
員 D
(無償)

指導
員 E
(無償)

指導
員 F
(有償)

1回あたり
3000円の
派遣費を
部費で賄う

大学生や非常勤は2~3年しか続かないし、都度、質が大きく変わる

指導の質が担保されないが、学校も、保護者もボランティアベースなので文句が言いにくい。

ケガの際など、責任の所在が曖昧に。

継続性がない取り組みに
→「契約」にする
必要性を感じる

指導が一貫せず、
選手はバラバラに

指導員の日程調整や
支払いなど、オペレー
ションが複雑に！

他の部活で学校予算で
非常勤講師に依頼する
も、立ち位置は専任が
「主」非常勤が「従」。
マネジメントの主体に
ならないので、あまり
専任の負担は減らない。

- アメフト部、ボクシング部、卓球部など、先輩教員の思いが強い部活動ほど、**今いる教員では引き継げない。**
- 従来の外部指導員によるスポットのサポートでは、**本質的な改善はなされない。**
 - ① 「教員」への保護者からの期待
 - ② ボランティア的な意味合いでは途中で断りづらいし、長続きしない。

費用

- 学校のICT化など、イニシャルもランニングも含めて、かつてよりも**費用が大きくなる**ようになる。

プログラム

- 働き方改革の一環…法人への説得材料
 - ① **労働時間規制**…変形でも10時間まで
 - ② **連続勤務日規制**…連続6日まで
 - ③ **残業代の負担**…日曜出勤

採用

- **若手教員の意識**が変わった
- 教員の職場を**魅力的**なものに！

費用

学費をあげずに、これ以上、学校経費で負担するのが難しくなってきた。

コンプライアンス

- ★ 日当 2 万円 × 年間 365 回の出張費
= 年間 730 万円
- ★ 同じ費用をかけるのならば、連続勤務日規制や過労死リスクなどもあるため、外注した方が良い。
- ★ 学校のブランディングにもつながる。

採用

新規で採用するのが難しくなってきた。
→ このままだと（部活動指導が理由で、）
教員のなり手がなくなる

新たな発想のもとに、**新規のしくみ**が必要。

絶対条件は、**生徒の満足度を下げない**。

ステークホルダーの理解を得られる形で、**順番に丁寧**に進めていく。

最も重要なのは、**継続性**。それを担保するためには

- ① **十分な資金を確保**すること。
- ② **良質な指導員を確保**し続けること。

最初は各社に声をかけたが「**難しい**」という返答。費用面だけでなく**単独では派遣できない部**が発生。

一般的な「派遣」だと、聖学院の希望は聞いてもらえないが、先に面談し、**各部活の意向や指導理念**を伝えている。

費用を学校が負担するため、**各部活の活動量も捕捉**しやすくなる。

クラブチームとは違い、**学校のスケジュールに合わせて練習の予定を組める**ため、文武両道。

プロの指導員としての自覚があるため、**指導の結果について他責化しない**。最新の指導スキルを学んでくれる。

- ①指導員の派遣にかかる費用を一括管理してくれるので、**「総額・進捗の見える化」**がしやすい。
- ②良質な指導員を、継続して供給する仕組みが確立。**指導員の質に問題がある場合は交代**してもらいうこともできる。
- ③指導員が問題を起こした際に、**リーフラスに損害賠償を請求**できる。リーフラスサイドで指導員に対して研修、日々のサポート。
- ④教員が高度な**安全配慮義務**を負わなくてよくなる。
- ⑤当たり前のようにやっていた教員の**「顧問業務」**を**可視化**するきっかけになった。
- ⑥教員の部活動指導にかかる時間、精神的負荷の低減。**時間外労働、連続勤務日数規制（連続6日）**を逃れられる。

P
立ち上げ前

- ・全体への「働く中での負担感調査」。
- ・一生懸命に部活動の顧問を頑張ってきた先生も含めてヒアリング調査。

導入前

校内でプロジェクトチームの立ち上げ
→ **校内での理解**の醸成

原資が「保護者から」
だけだと反感！

導入時

イニシャルコストは学校が全額

導入後
1～2
か月後

生徒へのアンケート、**顧問**への成果の聴き取り
効果を実感して
もらった後に、、、

導入後
3～4
か月後

保護者会を開催。趣旨説明、アンケート結果報告。
次年度より**月5000～7000円の部費を徴収**する
お願い
週1回 月4回で

小さく始め、**改革の価値**を実感してもらいながら、
変化を常に作り出していく

2020年度 αテスト

- ① **高校サッカー一部、中高卓球部**に指導員を導入。
- ② 指導員費は**全額学校負担**。

2021年度 βテスト

- ① 高校サッカー一部、中高卓球部に加え、**中学サッカー一部、中学野球部**に指導員導入。
- ② 高校サッカー一部、中高卓球部に**指導員費の負担のお願い**（今年度は月5000円。次年度以降は再度検討）。
- ③ リーフラスのスクール事業に**グラウンド貸し出し**。

2022年度 βテストの様子をみて判断（可能ならば
拡大していく方向性）

「金」と「人事」をおさえることにより、学校全体をマネジメントできる体制へ

スクールに参加している**保護者に広報活動**
=**中学受験のためにスポーツをやめてしまう問題の解決**

夜間照明は防犯上助かるというご意見あり。人工芝にした上で消防団の訓練に使わせてほしい=**地域との密着・連携・貢献の意味も**

指導者の育成のスポット
=将来、指導者を目指す大学生やプロのセカンドキャリアとして

高齢化を迎える中で、アクティブシニア向けのスポーツ教室の開催
ex.朝の時間帯
=**学校が地域の「学び」や「コミュニティ」のプラットフォームになりたい。**
=「学校」「保護者」「企業」だけでなく、「地域」「官公庁」「専門家（学者の先生）」を巻き込む必要性

協働し始めて、はじめて見えることがあった。=**まずは一歩目を踏み出してみることが重要。**

Facebook（下記のQRコード）やメール（m-hinoda@seig-boys.jp）で繋がっていただき、ご質問やご意見（特に資金の調達に関するアドバイス、他校事例、一緒にこの取り組みをやりたいなど）を個別にメッセージをいただけると幸いです。



<https://www.facebook.com/masato.hinoda.9>